

無∞限∞大

鳳高校 74 期生学年通信
(第 3 号) 2021/6/8
三年次学年通信編集係

三年生になって初めての考査と校内模試が終わりました。試験は「受けて終わり」ではありません。考査も、模試も、受けた後が大事です。しっかりやり直しに取り組んでください。

第 1 考査 講評

古典 B

大問 1 の問十は 1 年次から問われ続けている助動詞の問題でした。「3 年になっても聞かれるから覚えておくように」とも言われていたはずですが。そんな中であって 5 問とも正解になった人が少なかったこと、全て間違っている人がいたことは残念です。単語の意味、漢文における語句の意味や読み方など、間違っただ箇所は必ず復習してください。

実力問題は思うように点数が取れなかったという人が多かったようです。ですが、例えば、問 1 の単語の問題はすべて『古文単語 315』に掲載されていたものです。初見とはいえ、1・2 年の知識で多くの問いが解けたはずですが。

つまり、「基本を徹底的に身につけること」を、何よりも大切にしてほしいと思います。

現代文発展

評論 3 題の得点率は選択者全体で (一) 59.8%、(二) 57.5%、(三) 56.8%、難しい内容ほど頑張っ

て取り組んだようです。**平均点は 58.2 点でした。**全体的によく頑張っていたのですが、単純な漢字のミス、語句の意味や四字熟語など基本的な問題ができていない人が目立ちました。また出題の注意事項・決まり事などを確認せず、無効になった答えもありました。練習した問題がそのままの形で出題されるとは限りません。しっかりと内容確認をして論の組み立て、筆者の主張等を自分の中に落とし込んでいくようにしましょう。教科書本文は必ず全体を通して読み返すように。急がば回れ、です。知識の底上げのために漢字・意味調べをおろそかにせず、接続詞・段落構成・比喩や言い換えをチェックして、問題集の本文解説も忘れずに「丁寧な読み」を心がけましょう。



古典発展

「枕草子」も漢文も、語句の意味、敬語、現代語訳ともによく出来ていました。

しかし、古文の実力は「品詞分解」漢文の力は「訓点つけ」に顕著に表れます。

その点では、基本事項もアヤシイ答案が多々ありました。はや

く、文法書を最初からすみからすみまで復習して用言→助動詞の意味用法と接続の理解を完全にしましょう。例えば、「なむ」が強意+意志、2 語の助動詞と判断する決め手は何ですか。そらで言えるくらいにならなくてはなりません。漢文では返り点のつけ方の手順・約束事もまだちゃんと分かっていないようです。返読すべき文字、再読文字、「すなわち」のような同訓異字は必須事項です。

国語常識 B

テキストの漢字・慣用表現と口語文法の敬語はよくできていました。漢検準 2 級の範囲は部首など特別な部分が対応しきれなかったようです。新聞記事を読んだ意見文は、社会問題を自分ごととして捉える姿勢に大変好感が持てました。

化学

平均 64.1 でした。100 点近く取れた人もいる一方で、40 点を下回った人もいました。授業でのプリントが中心で解きやすい問題が多かったと思います。平均点は、ますますだと思いますが、40 点を下回った人は、テスト勉強に時間が割けなかったとしても授業のプリントを復習すれば欠点を回避できたのでは？と残念でなりません。

コロイド、沸点上昇・凝固点降下、浸透圧は、正答率も高く、良くできていた人が多かったようです。一方で、ヘンリーの法則や、熱化学方程式が作れていても、計算で点数を落としている人が多いようでした。また、時間が足りなかった人もいるようでした。

ヘンリーの法則は、2 年時のボイル・シャルルの法則、気体の状態方程式から苦手を抱えたまま進んでいる人がいるため、点数を落としているようでした。熱化学方程式では、反応熱の種類が指定されているもの、問題文から着目する物質 1 mol あたりの熱量を計算することを理解していない生徒がいるようです。

模試や入試で、問題や計算が複雑になったときに時間との戦いになるので計算力をつけることも大切です。一通り指示された問題を解いて、不明な点のテスト前に聞きに来ることが基本と思うのですが、範囲も広大になっていきテスト前だけでは対応できなくなってきます。授業後に少しずつ解いて不明な点をつぶしておきましょう。

物理

平均は 50.3、最高点 84 でした。大問 1 の基本事項の確認は正解して当たり前の問題です。等速円運動の速度の向きは接線方向ですが、正答率 75%、加速度の向きも 87% の正答率では非常に困ります。公式に代入し数値計算をする大問 2(1)の中にも正答率が 50% を切っているものがあります。ここができていない人は計算力を上げるために、途中で電卓などを使わずに最後まで回答を作りきる訓練をしてください。



基本的な問題なのに正答率が低いのは2(6)②高度が上がった位置での重力加速 3(1)円運動が始まるときの垂直抗力 4(4)加速度運動中の斜面で滑り出す摩擦力の方向 で 10%程度です。毎回言っていますが公式を覚えることが物理ではありません。基本的な現象を数式で表現しているのが公式です。現象の理解が不十分だと正解にはたどり着きません。間違えた場所は必ず、答えだけでなくその意味も理解できるように学習しておいてください。次回の試験範囲に含まれる「単振動」は円運動が不十分なままでは進めない分野です。挽回を期すのであれば、振り返って足場を固めてください。

世界史B

平均はぴったり60点。ちょっと寂しい。

2講座あわせて19人しかいないし、一騎当千の精鋭部隊だと思って問題を作成した。

鉛筆組(90点以上)も数も少ないし、中堅層もイマイチだし、下位に至っては全く勉強していない人もいたと思われる。あかん。あかんぞ。

全員に繰り返す。10分の復習をきちんとやりなさい。キ又さんも含めて我々は、「いっぺんきいだけでスミズミまで覚えられる」ような脳を持ち合わせていません(南方熊楠はそうだったらしいよ)。努力しなさい。

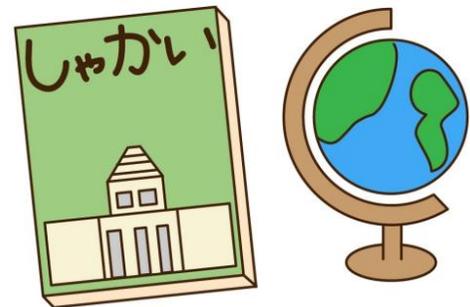
授業中の集中(割とできている)、10分の復習、試験勉強。この三位一体で、目くるめく知識の海に漕ぎ出そう(どうしたんや!)

政治・経済

第1考査の平均は70点超えでした。とれる問題を確実にとる。まずはこれが大切ですので、次からも心掛けてください。記述については、さらに詳しく正確に表現する力を求めていますので、頑張ってください。

地理B・地理速習

2年時の地理Aと比べて、難しかったと思います。地理Aでは単に知識を問う問題が多く、しかも択一式が多かった。今回は共通テストだけでなく2次や私立の記述式も意識して作成しました。しかし内容は授業でやったことに基づいています。少し応用的なことも入れましたが、きちんと勉強すれば点が取れない問題ではありません。勉強が足りません。週4(速習は3)時間になって、分量も増えています。第三、第四考査のように考査までの期間が長くなれば、さらに分量が増え、難しくなり、ますます点が取れなくなります。授業を真剣に受けること、日々の復習を行うことは当然すべきことです。しっかり勉強に取り組んでください。基礎事項を暗記した上で、何故そうなるかを考えてください。自分の手、目、口、耳を動かして勉強してください。次の考査に期待します。



倫理

みなさん大変よくできていました。センター過去問からの出題も多いテストでしたが、しっかり授業を受け、よく勉強していることが伝わりました。ですが、これから学習内容がどんどん難しくなっていきます。次回のテストから問題数も10~20問ぐらい増えるつもりでいてください。自信は持ってほしいですが、過信せず、授業に参加してほしいなと思います。楽しく勉強していきましょう♪

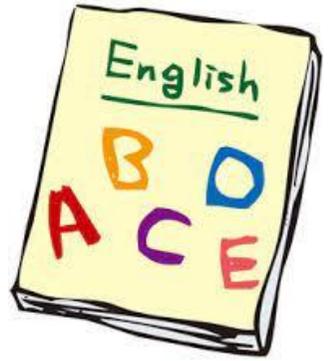
英語読解特講

学年平均は73.4点でした。今回は既出の長文2題、新出の英文1題とNext Stageの語彙を出題しました。

既出長文問題に関しては大変よくできていました。細かいところまでよく読み込めていたなと感心しました。一方、初見の長文問題についてですが、全問正解できた人はごくわずかでした。高得点を取れなかった人の多くは、実力不足というよりは時間不足によるものだったと思います。

時間を節約できる問題には、ケアレスミスのない程度に早く処理する力も養う必要があります。

語彙を増やし、たくさん問題に取り組むことで処理能力を高めていきましょう。



英語総合

学年平均は69.9点でした。授業で学習した長文2題、思考力・判断力を問う応用問題の英文1題、Next Stageの基本イディオム70題から25題を出題しました。

授業で学習した長文問題は、記述大学入試の出題傾向に合わせ、形式を変え、出題しましたが、内容をよくとらえており、正解率は良好です。しかしながら、上記応用問題の正答率は低く、課題が残りました。問題を解く時間は限られており、短時間で英文を読む速読力、文構造をとらえながら読む精読力を授業中のみならず、今後、自宅学習で訓練する必要があります。その際のポイントは音読筆写です。短時間で英語力はあがりませんから、時間をかけてコツコツ学習していきましょう! イディオムは、ほぼみなさん満点です。次回は動詞のイディオムを出題します。

英語表現Ⅱ

今回は標準的な出題ばかりで平均点も70点を超えております。しかしこの先はどんどんと出題範囲も広く、内容も深くなってきますので、なかなかこのままの平均点をだすことは難しくなってくるとでしょう。本番の入試を突破するためにはいつまでも甘えていてはなりません。

これからリスニングの新しいテキストも投入されて、ますます守備範囲を広げねばなりません。自分のため、将来のためと思い、ここがふんばりどころです。

入試はスポーツの試合と似ています。練習もせず、道具も磨かず、ルールも知らずに試合に勝てるでしょうか? それは、勉強もせず、単語も覚えず、文法も知らずに合格したいという妄言と同じです。敵を知り己を知れば百戦危うからず!! です。